

コース名	DX経営人材コース		
講座名	—		
科目名	高校情報Ⅰで学ぶDXの基礎Ⅱ—コミュニケーションと情報デザイン		
必修・選択	—	単位	—
概要・目的	DX(Digital Transformation)を進めるためには、そのための思考・マインドと情報リテラシーを学んだ上で、具体的な業務を少しずつ改善していくためのプロトタイプを考えて行くことが必要である。高校情報Ⅰでは、DXを進めるための情報リテラシーが網羅されていることから、高校情報Ⅰ（コミュニケーションと情報デザイン）の内容を中心にして、DXの基礎（情報システムのデザイン）を学ぶ。これを通して、各業務におけるDXに向かうための情報システムのデザインとそこで利用するデータ表現に関わるリテラシーを身に付けることを目的とする。		
到達目標	情報システムのデザインと情報システムが利用するデータ表現の基礎が理解できる。		
授業方法	講義	実施形態	遠隔非同期
評価方法	最終レポート		
授業項目	1	メディアの発展（アナログ、デジタル、メディアの特性）	
	2	情報技術とコミュニケーション（同期、非同期、N：M情報）	
	3	情報デザイン（ユニバーサルデザイン、文書、プレゼンテーション）	
	4	ユーザーインターフェース（UI）とユーザーエクピアリエンス（UX）	
	5	情報のデジタル化（アナログとデジタル、2進数）	
	6	数値と文字の表現（整数、小数、コード、演算）	
	7	マルチメディア情報の表現（静止画、動画、音声の情報表現）	
	8	情報のデータ量（ビット、圧縮、情報エントロピー）	
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
使用教材	LMS上の動画及び演習課題を通して学習を進める。高校情報Ⅰの教科書を参考図書として使用する。		
特記事項	キーワード：メディア、コミュニケーション、情報のデザイン、情報表現		